

「緑園東小学校」「若葉台特別支援学校」 「戸塚図書館」が文部科学大臣表彰を受賞します

横浜
読書

【概要】

文部科学省では平成14年度から子どもの読書活動の一層の推進に資するため、特色のある優れた実践を行っている学校・図書館・団体(個人)に対し、大臣表彰を行っています。

横浜市では、令和2年度の子供の読書活動優秀実践校・図書館として、「緑園東小学校(泉区)」と「若葉台特別支援学校(旭区)」の2校、「戸塚図書館(戸塚区)」の1館が、4月23日(木)に受賞します。

【表彰式】

表彰式は、4月23日(木)に開催される文部科学省主催の「『子ども読書の日』記念子どもの読書活動推進フォーラム」で行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

【活動の様子】



緑園東小学校「図書委員による読み聞かせ」



若葉台特別支援学校「知的障害教育部門の生徒から
肢体不自由教育部門の児童生徒に向けた読み聞かせ」



戸塚図書館「0歳からの絵本に親しむ講座」



戸塚図書館「子どもSOSの本」展示

裏面あり

【活動内容（特色ある活動例）】

緑園東小学校（泉区）

保護者や地域、近隣の大学生による児童への読み聞かせ、朝の一斉読書が定着し、地域を巻き込んだ取組が幅広く展開されています。また、図書委員による読み聞かせのほか、異学年ペアが学校図書館で一緒に読書をする「なかよし班ごとの来館企画」、さまざまなジャンルに興味を持ってもらうために、多分類の図書を読む「ジャンル読みビンゴカード」など、特色ある取組が活発に行われています。さらに、公立図書館見学や近隣大学との連携をカリキュラムに位置付けることで、子どもの生涯を見据えた豊かな読書活動を実践しています。

若葉台特別支援学校（旭区）

若葉台特別支援学校は肢体不自由教育部門と知的障害教育部門の2つの部門からなり、肢体不自由教育部門の児童に向けた取組として、読み聞かせのほか、地域ケアプラザから寄贈された布絵本、布おもちゃの活用などさまざまな読書活動が行われています。一方、知的障害教育部門では、生徒によるブックトークが行われています。また、知的障害教育部門の生徒が肢体不自由教育部門の児童生徒に読み聞かせを行うなど交流が行われています。さらに、司書教諭と学校司書が連携して行う読書クイズや、給食メニューと絵本『ぐりとぐら』（福音館書店）をコラボさせた読み聞かせなど特色ある取組が行われています。

戸塚図書館（戸塚区）

「戸塚区読書活動推進目標」のもと、区役所や学校・地域と連携しながら様々な取組が行われています。区内各施設において、わらべうたや絵本を介して親子でコミュニケーションを図ることの楽しさを知ってもらうため「0歳からの絵本に親しむ講座」等を開催しています。また、いじめや児童虐待、家庭内暴力等をテーマとした児童書を「子どもSOSの本」と名付け、図書リストの作成や展示を行うことで、子どもとその周囲に子どもの命を守ることの重要性を発信しています。

戸塚図書館の児童書の貸出冊数は、平成26年度から5年間連続して増加しており、子どもの読書活動の推進に成果をあげています。

■活動の詳細についてのお問合せ

横浜市立緑園東小学校 校長 副島 江理子 (Tel 045-811-6710)
横浜市立若葉台特別支援学校 校長 小林 淳一 (Tel 045-923-1300)
横浜市戸塚図書館 館長 長谷川 祐子 (Tel 045-862-9413)

お問合せ先

(読書活動全般について)

教育委員会事務局生涯学習文化財課長 宮田 純一 Tel 045-671-3236

(受賞校について)

教育委員会事務局小中学校企画課情報教育担当課長 柳下 裕明 Tel 045-671-4498

(受賞図書館について)

教育委員会事務局中央図書館企画運営課長 水野 純子 Tel 045-262-7342